

平成23年度

事業報告書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

I. 法人の概要

II. 事業の概要

学校法人 精華学園

学校法人精華学園の平成23年度の事業概要をとりまとめましたので、ご報告致します。

I. 法人の概要

1. 教育目標

本学は、自立・協調・創造を教育目標の三本柱に掲げ、自分の力でしっかりと行動できる人間、お互いの違いを尊重し相手を思いやり助け合える人間、確実な学力を身につけ柔軟な発想で新しいものを作ることができる人間の育成に全力で取り組んでいます。

2. 学校法人の沿革

大正15年(1926) 財団法人精華実践女学校設立
昭和4年(1929) 大阪市港区より阿倍野区に移転
昭和18年(1943) 精華高等女学校と改称
昭和19年(1944) 精華高等実業女学校と改称
昭和23年(1948) 学制改革により精華技芸高等学校に改称
昭和24年(1949) 精華女子高等学校に改称
昭和58年(1983) 堺市中区辻之に泉北学舎を開校
平成8年(1996) 阿倍野学舎は泉北学舎に移転統合
精華高等学校と改称
平成10年(1998) 男子生徒募集開始し、男女共学校となる
平成13年(2001) 前期・後期の2学期制を実施
平成14年(2002) 精華学園フィールドセンター開校
平成17年(2005) 第2研修館完成
平成22年(2010) 西広場開設

3. 設置する学校

精華高等学校 普通科

所在地 〒599-8245 大阪府堺市中区辻之1517番地

4. 生徒数の状況

平成23年5月1日現在(単位:名)

学則定員数	現員数	摘要
1080	1004	

5. 役員の概要

平成23年5月1日現在
理事(定員6名、現員5名)
監事(定員2名、現員2名)

理事長(校長) 藤田 曙 久(常勤)
理事 森 繁(常勤)
理事 武藤 隆 義(非常勤)
理事 東崎 行 雄(非常勤)
理事 佐藤 浩 史(常勤)

監事 西村 明 史(非常勤)
監事 阪田 義 澄(非常勤)

6. 評議員の概要

平成23年5月1日現在
評議員(定員15名、現員12名)

隅谷 隆	・	正川昌彦	(左記2名は学校職員)
池内美智子	・	中西学美	(左記2名は本校卒業生)
藤田曙久	・	武藤隆義	} (左記8名は学識経験者)
阪本孝志	・	東 崎 行 雄	
森 繁	・	吉村博勝	
池上祥博	・	佐藤浩史	

7. 教職員の概要

平成23年5月1日現在

教 員(教諭・嘱託・講師) 75名

職 員 6名

II. 事業の概要

1. 当年度の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化や厳しい経済状況の中にあつて、生徒募集活動に大きな影響を受けているが、ホームページの内容の充実や教務・生徒指導・進路の三部門をはじめ学園あげでの取り組みに努めた結果、平成23年度は、募集人員320名に対し、入学者は358名を確保し、一定の成果をあげることが出来た。

一方、平成23年度卒業生377名の進路状況については、大学・短大・専門学校への進学者は267名、就職者は42名、浪人・未定等は68名となった。浪人等の多いことが課題であるが、公務員試験に挑戦し、現役合格する者が出るなど明るい結果も得られた。

2. コース別教育の強化

1年生は特進共通コースと特進選抜コースの二つを設定し、前者は2年生から生徒の希望により情報国際コース・環境福祉コース・スポーツ健康コース・特進総合コースの4コースから選択し、後者については、難関大学を目指して学ぶ3年間の一貫教育コースで実施した。

3. 各コースの概要

(1) 情報国際コース

コンピュータ、インターネットの急速な普及に伴い「情報」に対する認識や国際社会に対する理解が以前にも増して求められるようになった。この要請に応えるのが情報国際コースです。コンピュータや英語に親しみ、社会に通用する実践的な力を育成することに努めた。

- (2) 環境福祉コース
環境、福祉の2課題を関連したものにとらえ、生活環境という身近な観点から出発し、自然との共生心を育み、福祉へつながるよう学習を展開し、特に老人ホームや幼稚園・保育園等に積極的に出向き、地域社会との交流活動にも努めた。
- (3) スポーツ健康コース
生涯に通じる心身の健康のあり方を学び基礎体力の向上に取り組み、いろいろなスポーツを経験し、社会に貢献できる強い意志を持つ生徒を育成した。
- (4) 特進総合コース
志望大学の現役合格を目標に、生徒一人ひとりが学習意欲を高め、学力向上に努め、早朝学習、進学講座など目標達成に向けさまざまな取り組みを行い、一定の成果をあげることが出来た。
- (5) 特進選抜コース
3年間の授業はもちろんのこと大学進学講座や勉強合宿を通じて、難関大学への現役合格を目標に実力アップのための取り組みに努めた。授業や進学講座では、基礎から応用まで3年間を見据えた密度の濃い内容でより実践的な実力を身に付けさせることが出来た。

4. 部活動の状況

部活動の一層の充実と活性化を図るとともに部員数を確保するための方策の一環として、学内に教頭を委員長とする「部活動推進委員会」を新設し、強化クラブを認定するなどの支援を行った。

主な成績としては、運動部では、全国大会になぎなた部が出場し、近畿大会に卓球部とホッケー部が出場した。文化部では、強化クラブに指定した吹奏楽部が、吹奏楽コンクール、マーチングコンテスト、アンサンブルコンテストの三部門とも大阪大会で優秀な成績を修め、関西大会に出場するという快挙をなしとげた。

5. 入学特別優遇制度の実施

学力・人物ともに優秀な者や技能優秀な部活動推薦者、また保護者が本校卒業生、兄弟が同時に在学している受験生に対して入学金や授業料免除等の優遇措置を講じ入学者への支援を行った。

6. 経営力の強化

平成24年度入学生から現行の授業料490,000円を45,200円値上げし、535,200円にすることについて府との協議が整い経営改善に寄与することになったのをはじめ、運転資金についても長期借入金の導入に成功し、経営の安定化に努めたほか、職員の通勤定期については、従前1ヵ月定期で支給していたが、平成23年4月から原則6ヵ月定期で支給することとし、合理化をはかった。

7. 施設等の管理と整備

就業規則の一部改正を行い、平成23年4月1日から学校敷地内を全面禁煙とし、環境整備と健康管理面の向上に努めた。

また広大なフィールドセンターの雑草処理については、はじめて(社)堺市人材シルバーセンターに委託し夏期休業中に整備した。

なお、スクールバスの運行については、長年、民間警備保障会社に委託していたが、撤退したいとの申し出を受け、平成24年度から直接雇用により運行するための条件整備等に全力で取り組み、万全を期した。

8. その他

学校運営の活性化と円滑化を図るため保護者会や保護者会役員経験者との連携、同窓会の支援、また学校後援会活動の応援等協力体制の強化に積極的に努めた。

財産目録

平成24年 3月31日

(単位 円)

科目	部門	摘要	金額
土地	高校		1,409,471,696
建物	高校		1,010,052,528
構築物	高校		17,151,679
教育研究用機器備品	高校		28,743,254
その他の機器備品	高校		232,218
図書	高校		42,492,118
車両	高校		13,935,600
電話加入権	高校		425,854
施設利用権	高校		4,070,819
退職給与引当特定預金	高校		108,284,861
現金預金	高校		202,805,157
未収入金	高校		40,271,038
仮払金	高校		244,160
修学旅行費預り資産	高校		22,031,186
資産合計			2,900,212,168

長期借入金	高校		363,000,000
退職給与引当金	高校		125,610,423
長期未払金	高校		10,451,700
短期借入金	高校		62,000,000
未払金	高校		62,865,149
前受金	高校		57,377,000
預り金	高校		8,903,655
修学旅行費預り金	高校		22,031,186
負債合計			712,239,113
差引正味財産			2,187,973,055

貸借対照表

平成24年 3月31日

(単位 円)

	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	2,634,860,627	2,655,104,471	△ 20,243,844
	流動資産	265,351,541	78,467,016	186,884,525
	資産の部 合 計	2,900,212,168	2,733,571,487	166,640,681
負債の部	固定負債	499,062,123	247,263,740	251,798,383
	流動負債	213,176,990	379,086,177	△ 165,909,187
	負債の部 合 計	712,239,113	626,349,917	85,889,196
基本金の部	第1号基本金	4,288,803,259	4,240,940,154	47,863,105
	第4号基本金	80,000,000	80,000,000	0
	基本金の部 合 計	4,368,803,259	4,320,940,154	47,863,105
差額費の収支	翌年度繰越 費支出超過額	2,180,830,204	2,213,718,584	△ 32,888,380
	消費収支差額の部 合 計	△ 2,180,830,204	△ 2,213,718,584	32,888,380
	負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部 合 計	2,900,212,168	2,733,571,487	166,640,681

(注記)

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

授業料の徴収不能に備えるため、期末未収授業料等に対し、徴収不能実績率に基づく徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

期末要支給額345,355,895円から(財)大阪府私学総連合会よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

修学旅行費預り資産及び修学旅行費預り金に係る収入と支出は総額により表示している。

2. 重要な会計方針の変更等	該当事項なし
3. 減価償却額の累計額の合計額	1,876,163,093円
4. 徴収不能引当金の合計額	381,759円
5. 担保に供されている資産の種類及び額	
土地	1,169,471,696円
定期預金	61,409,278円
6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額	113,935,600円
7. その他財政及び経営の状況を正確に判断する為に必要な事項	

所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

①平成21年4月1日以降に開始したリース取引

なし

②平成21年3月31日以前に開始したリース取引

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	2,646,000円	705,600円
車 両	1,560,000円	1,560,000円
計	4,206,000円	2,265,600円

資金収支計算書

平成23年 4月 1日

平成24年 3月31日

収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	368,300,000	368,710,403	△ 410,403
手数料収入	16,540,000	16,518,300	21,700
寄付金収入	4,000,000	4,777,520	△ 777,520
補助金収入	463,429,000	469,569,597	△ 6,140,597
資産運用収入	660,000	656,202	3,798
事業収入	6,487,000	6,487,000	0
雑収入	32,165,125	32,470,261	△ 305,136
借入金等収入	350,000,000	350,000,000	0
前受金収入	57,777,000	57,377,000	400,000
その他の収入	80,400,000	81,710,593	△ 1,310,593
資金収入調整勘定	△ 102,671,500	△ 102,593,897	△ 77,603
前年度繰越支払資金	49,597,958	49,597,958	
収入の部合計	1,326,684,583	1,335,280,937	△ 8,596,354

支出の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	616,565,795	615,685,641	880,154
教育研究経費支出	100,520,000	98,807,503	1,712,497
管理経費支出	43,783,550	42,606,915	1,176,635
借入金等利息支出	9,050,000	9,040,036	9,964
借入金等返済支出	296,000,000	296,000,000	0
施設関係支出	8,100,000	8,071,350	28,650
設備関係支出	25,700,000	25,307,855	392,145
資産運用支出	57,000,000	58,036,769	△ 1,036,769
その他の支出	38,398,072	38,300,960	97,112
〔予備費〕	5,000,000		5,000,000
資金支出調整勘定	△ 60,000,000	△ 59,381,249	△ 618,751
次年度繰越支払資金	186,567,166	202,805,157	△ 16,237,991
支出の部合計	1,326,684,583	1,335,280,937	△ 8,596,354

消費収支計算書

平成23年 4月 1日

平成24年 3月31日

消費収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	368,300,000	368,710,403	△ 410,403
手数料	16,540,000	16,518,300	21,700
寄付金	4,000,000	4,777,520	△ 777,520
補助金	463,429,000	469,569,597	△ 6,140,597
資産運用収入	660,000	656,202	3,798
事業収入	6,487,000	6,487,000	0
雑収入	1,000,000	1,548,948	△ 548,948
帰属収入合計	860,416,000	868,267,970	△ 7,851,970
基本金組入額合計	△ 48,250,000	△ 47,863,105	△ 386,895
消費収入の部合計	812,166,000	820,404,865	△ 8,238,865

消費支出の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	577,710,000	576,802,799	907,201
教育研究経費	152,020,000	150,094,934	1,925,066
管理経費	52,183,550	50,948,116	1,235,434
借入金等利息	9,050,000	9,040,036	9,964
徴収不能引当金繰入額	0	630,600	△ 630,600
[予備費]	5,000,000		5,000,000
消費支出の部合計	795,963,550	787,516,485	8,447,065
当年度消費収入超過額	16,202,450	32,888,380	
前年度繰越消費支出超過額	2,213,718,584	2,213,718,584	
翌年度繰越消費支出超過額	2,197,516,134	2,180,830,204	

監 査 報 告 書

学校法人 精 華 学 園

理事長 藤 田 曙 久 様

平成 24 年 5 月 8 日

監 事 西 村 明 史 印

監 事 阪 田 義 澄 印

私達は、平成23年度(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査概要の手続

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務報告を聴取し、関係書類閲覧等必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録の数値は、当然会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していると認める。

(2) 理事の職務執行に関する不正行為、又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないと認める。

以 上